



広報 うらにし 11月号

・てだこ祭り

浦添市陸上競技場の長期間の改修工事によりてだこホールに隣接するカルチャーパークで行われています。手狭でこれまでとは勝手が違い観客も少なくなっているようです。浦西自治会からは高齢者の輪投げ大会、カラオケ大会、青年会のエイサー演舞出演がありました。特に、青年会は前夜祭の屋富祖大通りで盛大に開催される“ひいやさっ祭”にも常連となっています。地域の関係者が出場する祭りとして是非一度ご覧になつてほしいものです。



青年エイサー 天城武 熱唱

・美らまち通り隊

8月・9月休止していましたが暑さも和らぎ熱中症の心配もなくなった10月から活動を再開。



10月 27日 (日)

2024/10/27 09:49

・浦西ゴルフ愛好会ゴルフコンペ

50回記念祝賀会開催で賑わう！総勢30名余が集い乾杯！



10月 3日 (木)

2024/10/03 10:00

行政区住民登録人口（10月末）

世帯数 757 総人口 1754
自治会加入 391 加入率 52%

定期清掃（第3日曜日）

リサイクル活動（同上）

////11月行事 ////

*図書丸来館日：17日

- 14日 ふれあいサロン GG
- 17日 定期清掃
- 24日 評議委員会
クラシックコンサート
- 27日 ゆいまある講座

・弦楽四重奏コンサート

11月 24日（日）午後4時～
芸術の秋、弦楽の音色に癒されて
下さい。詳細は後日広報予定。



・包括支援センター・ゆいまある講座

「地域で見守り SOS ネットワーク」

認知症になっても安心して住める地域を目指している自治会にとってとても意義のある講座でした。少子高齢化の進む浦西では高齢者の見守りが重要になってきます。向こう三軒両隣が声掛け安い見守ることができれば理想的です。その意味でも班長制度は継続していく必要があります。



10月 23日 (水)

・子ども会ハロウィンパレード 60名が参加！

事前に衣装を作り、コースを決めて自治会内を練り歩きました。お菓子包装や、サーチアンダギー作りは父母、ふれあいサロン、民生委員等で行いました。可愛らしい衣装をまとい仮装した60名ほどの子どもたちは行く先々で「トリック・オア・トリート」とドアをノックしてお菓子をゲットして喜んでいました。



10月 27日 (日)

第261号
2024年11月1日
発行：浦西自治会
編集：自治会広報部
電話：876-0767

・インフルエンザワクチン接種

当初は100名予定でしたが102名の方が接種を受けました。当日の自治会放送を聞いて駆け付けた方が10名いました。午前9時半開始前に沢山の予約者が来館され、9時から開始し待ち時間も無くスムーズに終わりました。これまで数回実施していることでクリニック側、被接種者も慣れていることが分かります。病院に比べて受付、問診、接種の循環が素早く待ち時間が無く有難いと好評でした。また、近くで接種ができることが最大のメリットで、アイビーホームケアクリニックの皆さんに感謝致します。



10月 29日 (火)



10月 20日 (日)

・第32回運動会 10月19日（土）午後1時～4時 浦西中学校体育館

120名余の会員の参加を得て活気ある運動会となりました。子どもたちの歓声が館内に響き渡り和やかなひと時でした。ラジオ体操愛好会のメンバーが前に出て模範体操を示し、イエロー整骨院の指導によるストレッチで体をほぐし準備万端。前年優勝のD棟から優勝カップが返還され、戦いの火ぶたが切られました。運営委員長の仲本一喜体育部長代理で友利健吾がスムーズな運営に努めました。幼児のかけっこは父母に加え祖父母の応援もあり盛り上りました。フリースローはバスケットシュートを競う競技ですが、ゴールが決まりずため息が聞かれました。二人三脚はペアの息が合う合わないで速さが違う競技で、応援の歓声が響き渡りました。最後のフォークダンス「青い山脉」はまとまりのないダンスとなっているので来年は練習をして望む予定です。でも、全員参加できこちない動きでも会員お互いが顔を合わせている姿を良しとしました。自治会員多数の老若男女が集い様々なドラマがあり楽しいスポーツの秋の運動会でした。



*リサイクル収益金
10月末実績（累計）

98,784円

公民館倉庫へ持込下さい。
対象はアルミ缶のみです。
(中身を空にして出して下さい)
*スチール缶、ビン類は対象外

迷惑駐車 はやめましょう！



にゅう あとしまつ
フン尿の後始末は
飼い主さんの責任です



ひら
お持ち帰りください

・8班班会 最高の盛り上がりでした！

班会は新川さん、波平さんの歓迎会を兼ねて行われました。大人22年、子ども9名、17世帯うち14世帯（1世帯はインフルエンザで欠席）の参加だった。佐久川夫婦のプロの弦楽合奏はすばらしその巧みな話術は皆を明るくさせた。飛び入りでフラダンスもあり和やかな雰囲気だった。皆の顔は笑いがあり8班の団結はすごいねと誰もが口にし、「また来年も班会をしよう」を合言葉で終わった。（友利）